

『症例解析&文献評価ワークショップ 2018 : 心房細動』

病棟や在宅で、目の前の患者に対する最適な薬物治療法の評価・提案方法がわからない、診療ガイドラインは一読したが、目の前の患者への活用方法に自信がない。論文を読む機会が少なく読み方・評価方法がわからない、論文の臨床応用に悩んでいる。そのような経験はありませんか？本ワークショップではこれらの基礎を学び、グループワークを通じて実際に症例解析もしくは文献評価に取り組むことで「症例の治療を評価する力」と「文献を批判的に吟味する力」を身につけます。また、プリセプターとして参加する場合には本学会認定ワークショップ認定指導者の指導のもとワークショップの立案から薬物治療の科学的評価の実践について学ぶことができます。今回の対象疾患は「心房細動」です。2011年以降に4剤のDOACが上市され、様々なエビデンスが蓄積される中で、国内では2013年、米国では2014年、欧州では2016年にガイドラインが改訂され、近年では出血のマネジメント、抗血小板薬との併用療法などに関する見解も報告されています。本ワークショップを通じて、心房細動に対する薬物治療をアップデートしてみませんか？多くの先生方のご参加をお待ちしております。

開催日時：2019年1月12日(土) 13:00~17:30、13日(日) 9:20~17:00

開催場所：京都薬科大学

定員：症例解析コース^{*1} 30名、文献評価コース^{*2} 30名

プリセプター 10名(症例解析5名、文献評価5名)

参加費：正会員・準会員 7,000円、非会員 13,000円、学生 1,000円(いずれも当日払い)

・参加予定コースについて本ワークショップの第10回以降の開催回に一度以上のご参加経験がある方；

正会員・準会員 5,000円、非会員 7,000円となります。また、2日目のみの参加も可能です(ただし、参加費は2日間参加される場合と同額となります)。

・当日の欠席や12月31日以降にキャンセルされた場合には、後ほど参加費全額をお支払いいただきます。

申込方法：メールでお申し込みください。メールの件名を「薬物治療ワークショップ2018参加希望」とし、

1) 氏名(ふりがな)、2) 所属、3) 参加希望コース(一般かプリセプターかも含む)、

4) 会員種別、5) 情報交換会(会費3,000円程度)への参加希望の有無を明記してください。

申込先：apusera.workshop@gmail.com

申込期限：一般参加 2018年12月29日(土)(先着順) プリセプター 2018年11月30日(金)(先着順)

【認定単位】日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師講習会の認定に加え、日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位、日本薬剤師研修センター(G01)研修認定単位、薬局共創未来人材育成機構薬剤師研修センター(G18)研修認定単位のいずれかの取得が可能です。また、本学会のワークショップ認定指導者の認定要件一つとなっています。

※1 症例解析コースは一般社団法人薬局共創未来人材育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」症例検討WS-IV(高齢者薬物治療認定薬剤師制度の認定要件となるワークショップ)も兼ねております。当該機構からのお申し込みを希望される方は1日目の内容に準じたMobile Seminarを受講の上、2日目のワークショップから参加いただけます。Mobile Seminarを受講後でも、会場での1日目からの講演、演習にはご参加いただけます。当該機構からの申し込みをご希望の方、当該機構の詳細はホームページをご覧ください。また、一般社団法人医薬教育倫理協会とも共催となります。

※2 文献評価コースは、東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング部門、一般社団法人 医薬教育倫理協会との共催となります。

お問い合わせ先：ワークショップ組織委員会 佐村 優(横浜総合病院) apusera.workshop@gmail.com

共催：日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 <http://www.applied-therapeutics.org/>

一般社団法人薬局共創未来人材育成機構 <http://pfpd.or.jp/>

東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング部門 <https://rist.tus.ac.jp/>

一般社団法人 医薬教育倫理協会 <https://www.amee.or.jp>

コースの概要

症例解析：自他覚症状や各種検査データから患者の病態を適切に評価したうえで患者の抱える問題点を把握し、ガイドラインや文献等をもとに根拠に基づいた薬剤選択、PK/PD 理論に基づく用法用量の設計、的確な治療モニタリング計画の立案、望ましい効果が得られない場合の対応など、科学的かつ合理的な薬物治療評価の基本的思考と実践的スキルを学びます。

文献評価：臨床研究論文を読む際に注目すべきポイントを学び、論文データの正しい読み取り方（統計学的視点も含む）や批判的吟味の思考を習得します。英語論文を扱い、英語が苦手な方でも論文を評価できることを目指します。論文で得られた結果を症例コースの症例に当てはめることで、科学的かつ合理的な薬物治療の実践力を高めます。

ワークショップ認定指導者制度の発足に伴い、プリセプターとしての参加者も募集します。プリセプター参加の場合、演習課題の準備や指導方針などの事前打ち合わせ（主にメール）にも加わります。

<1月12日（土）> ※症例解析コース参加で、薬局共創未来人材育成機構からお申し込みの方は希望者のみとなります。

時刻	症例解析コース	文献評価コース
12:30～13:00	参加受付	
13:00～13:10	開催趣旨説明	
13:10～14:10	講義：「心房細動の病態評価と標準薬物治療」 講師：京都社会事業財団 京都桂病院 薬剤科 堀内 望 先生	
14:10～14:20	移動（休憩）	
14:20～17:20 （途中 10 分間の 休憩あり）	「心房細動治療薬の薬物動態 講義及び演習」 講師：明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰 先生	「前向き比較試験論文の批判的吟味と患者への適応 講義及び演習」 講師：昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 神山 紀子 先生
17:20～17:30	1日目のまとめと2日目のスケジュール確認	
17:30～	場所移動、情報交換会	

情報交換会：参加者の交流を深めます。（希望者のみ、別途会費を頂戴します）

<1月13日（日）>

SGD : small group discussion

時刻	症例解析コース	文献評価コース
9:00～9:20	受付（薬局共創未来人材育成機構の申込者のみ）	
9:20～9:30	概要説明	
9:30～12:30	SGD：症例1の症例解析（基礎編）	SGD：課題文献の批判的吟味
12:30～13:30	昼食	
13:30～15:50	SGD：症例2の症例解析（応用編）	SGD：課題文献の批判的吟味
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:45	総合討論	
16:45～17:00	修了証発行、閉会式	

プリセプター担当予定者：池見 泰明 先生（京都大学附属病院 薬剤部）、野崎 歩先生、土手 賢史 先生、堀内 望 先生（京都桂病院 薬剤科）、佐古 守人 先生（東住吉森本病院 薬剤科）、加藤 隆寛 先生（愛知医科大学病院 薬剤部）、磯野 哲一郎 先生（滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部）、平井 浩二 先生（東京女子医科大学病院 薬剤部）、神山 紀子 先生（昭和大学 薬学部）

参考資料：月刊薬事 4月臨時増刊号「病棟に行く前に知っておきたい Common Disease 外さない症例解析で薬物治療に強くなる！」

（じほう）<https://www.dropbox.com/s/xfbayeexridkhg/>

改訂2版「2ページで理解する標準薬物治療ファイル」（南山堂）<https://www.dropbox.com/s/66ngiq7z8mvf8sc/>

第3版 臨床薬物動態学 薬物治療の適正化のために（丸善）<http://pub.maruzen.co.jp/shop/9784621089125.html>